

2020. 10. 9

一般社団法人静岡県信用金庫協会

第56回県内信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 田形 和幸）は、平成 17 年(2005 年)10 月以降、県内信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業 1,222 社にアンケート調査を実施し、1,217 社から得た回答（有効回答率 99.6%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

「県内中小企業等の景況感 DI はやや改善ながら高い悪化水準続く」

【概 況】

2020 年 7～9 月の県内中小企業等の業況 DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（2020 年 4 月～6 月「以下同じ」）の▲67.0 から▲59.1 へと 7.9 ポイントの改善となった。

業種別にみると、卸売業（前回調査▲69.0→今回調査▲71.0）が更に悪化したものの、サービス業（▲79.3→▲62.0）、小売業（▲70.1→▲56.0）、建設業、不動産業、製造業はマイナス幅が縮小した。

これを地区別の業況 DI でみると、東部地区、西部地区はマイナス幅は縮小し改善したものの、中部地区はマイナス幅が拡大した（地区別の詳細は次頁のとおり）。

各地区とも依然として悪化水準は高く、新型コロナウイルス感染症拡大（以下「コロナ禍」という）の影響が長引いている。

県内合計及び地区別 DI の推移（全産業）

	2018年		2019年				2020年			
	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12 (見通し)
東部地区	▲5.8	▲0.8	▲17.5	▲16.9	▲16.3	▲24.0	▲30.6	▲67.0	▲50.9	▲53.6
中部地区	▲1.3	8.9	3.8	▲3.4	▲7.6	▲7.4	▲21.1	▲53.7	▲59.6	▲44.0
西部地区	1.5	8.6	▲0.8	▲8.5	▲10.9	▲20.9	▲26.9	▲71.0	▲63.6	▲61.3
県内計	▲1.0	6.1	▲4.4	▲9.7	▲11.6	▲18.7	▲26.7	▲67.0	▲59.1	▲56.2

2020 年 10～12 月の業況見通しは、東部はマイナス幅の拡大、中部、西部はマイナス幅の縮小の見通しとなっていることから、県全体ではほぼ横ばいの見通しであり、コロナ禍の影響が長引き経済情勢の回復が遅れることを懸念し、引き続き悪化水準は高い予想となっている。

■東部地区

東部では、不動産業が 35.3 ポイント (▲41.2⇒▲5.9)、サービス業が 29.2 ポイント (▲90.0⇒▲60.8)、卸売業が 26.4 ポイント (▲75.0⇒▲48.6)、建設業が 15.3 ポイント (▲39.0⇒▲23.7)、小売業が 13.1 ポイント (▲73.8⇒▲60.7)、製造業が 3.5 ポイント (▲72.0 ⇒▲68.5) とすべての業種が改善したことから、全産業ベースの業況 DI は前回調査時の▲67.0 から▲50.9 と改善となったが、悪化水準は引き続き高い。

製造業

業況は、コロナ禍の影響が続いていることから、若干の改善に止まっている。

今後の見通し (2020 年 10～12 月期・以下同じ) としては、コロナ禍の影響は当面続くと思われることから、業況は、ほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・海外への輸出製品について、コロナ禍の影響により社員を派遣できないことから、現地での設置工事ができない状況にある。(精密機械製造業)
- ・企業活動の停滞やテレワーク等の推進により紙の需要が減少している。(加工紙製造業)
- ・コロナ禍の影響により、受注が大幅に減少したことから、少ない仕事を他社と競合している状態であるため値下げ競争が激化している。(鉄鋼業)
- ・売上が 50%減少し赤字へ転落、見通しが立たない状況。(わさび製造)
- ・環境問題でプラスチック製品の利用を控える動きがあり業況に悪影響。(プラスチック成型)

卸売業

業況は、売上の増加から、改善しているが、緊急事態宣言時に落ち込んだ売上は回復するまでには至らない。

今後の見通しとしては、経済活動の正常化には時間を要すると思われることから、業況は、ほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・配達先の集約等により経費削減を図り、売上の減少分をカバーしたい。(青果卸売業)
- ・企業の経済活動の縮小やテレワークの浸透、リモートワーク、リモート授業等により紙の消費量が減少しており、製紙メーカーの生産調整も続いている。(古紙卸売業)
- ・GoTo キャンペーンの影響もあり、取引先である熱海方面の宿泊施設からの売上は少しずつ回復している。(工業薬品卸売業)
- ・コロナ禍の影響により受注が減少していたが、他の商品の受注が増加したことから売上が回復傾向となっている。しかし一時的な売上増加を予想していることから、資金繰りには注意が必要と考えている。(文房具卸売業)
- ・非接触型販売がコロナ禍以前と比べ急増。都心では巣ごもり消費に合致した月定額購入プラン導入。(生花・鉢花卸売業)
- ・ブライダル用の生花売上が減少したが、家庭用生花の販売は増加しており、業況は回復傾向にある。(生花卸売業)

小売業

業況は、売上の増加などから、改善しているが、売上回復には至らない。

今後の見通しとしては、コロナ禍の影響が長引くとの予測から、業況は、ほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍の影響に伴い各種行事やイベントの中止が相次ぎ、出店出来ずに売上が減少している。(醤油・味噌・麴小売業)
- ・外出自粛により、ガス販売先業者 (主に飲食店、宿泊業) の利用状況が例年を下回っていることが売上減少の原因であり、新たな販路を見出していかなければ今後更なる資金繰り悪化が予想される。(LP0 小売業)
- ・店頭での販売を土日に限定し、平日はインターネットでの販売を行っている。ネットでの売上は堅調に推移している。(菓子小売業)

サービス業

業況は、売上増加から、改善しているが、コロナ禍の影響により大きな打撃を受けたため、依然として高いマイナス水準である。

今後の見通しとしては、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザが同時に感染拡大した場合、外出自粛等の長期化により、業況は、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・テイクアウト専用の弁当の充実化を図っているが、コロナ禍で競合も激しく厳しい状況が続いている。(飲食店)
- ・旅館経営であり、コロナ禍における影響は大きい。加えて豪雨災害による食材価格の高騰から収益確保は一層厳しくなる見通し。(旅館業)
- ・客足は少しずつ回復しつつあるも、影響前には遠く及ばず売上は減少している。団体集客を強みにしていたが、今後の社会情勢に合わせ改善も必要である。(飲食業)
- ・8月は9割のお客様がGoToキャンペーンを利用しての申込みである。東京除外の報道が出てからキャンセルが多発し、例年予約のあった団体客もキャンセルになり売上減少。(旅館業)
- ・事業柄テレワークや新たな事業発展は難しく、対策として何を行えば良いかは業界全体の課題。特に遠征などキャビンの中で密になる可能性が高い釣り業で、お客様の不安をどの様に払拭するかが重要な問題である。(遊漁船)

建設業

業況は、売上、受注ともに回復の兆しがあり、改善している。

今後の見通しとしては、人材不足やコロナ禍の影響が長引くとの予想から、業況は、横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍の影響による工期の遅れなどはあるものの災害による復旧土木工事やインフラ整備事業の受注は堅調。(総合建設業)
- ・新型コロナウイルス感染者の多い関東圏の工事現場の進捗遅延の影響で売上代金の入金が遅れ、資金繰りが非常に厳しい。工事現場はリモート不可能。(架設工事業)
- ・コロナ禍に伴い、県外現場の自粛や工期延長が発生している。労働環境の見直しは不可能に近いが、出来る範囲での感染対策を講じ、受注の消化に努めていきたい。(設備工事業)
- ・コロナ禍により住宅の新築、リフォームともに問い合わせが少なく、手持ち工事が終了した際の対策を早急に考えなければならない。(建築工事業)
- ・コロナ禍により工事着工ができず売上は減少したが9月以降の大口受注が確保できたことから業況は回復予定。(設備工事業)

不動産業

業況は、コロナ禍の影響も一段落し、改善している

今後の見通しとしては、先行き不安などによる不動産の買い控え等も予想されることから、業況は、悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・景気の落ち込みによる先行き不安から、これまで以上に遊休不動産の売却相談件数が増加している。(不動産売買・仲介)
- ・8月後半になり、少しずつ物件の問い合わせが増加してきた。しかし、コロナ禍の長期化から今後も不安定な状況は続くと考えている。(不動産仲介業)
- ・アパート管理及び不動産の仲介等を行っているが、コロナ禍の影響により、売上、利益ともに減少している。業況改善を図るために経費の削減に努める一方、広告等により宣伝を強化していくことで売上回復を図っている。(不動産業)
- ・持続化給付金の助成により資金繰りに問題はないが、新規の賃貸契約は例年よりも少ない。(不動産賃貸業)
- ・コロナ禍の影響により、近隣不動産の動きが活発になっており、不動産仲介部門の売上が前年比1.5倍で推移している。不動産買取に注力していく予定であり、広告宣伝等強化していく。(不動産業)

■中部地区

中部では、建設業が11.1ポイント（▲48.1⇒▲37.0）、小売業が8.6ポイント（▲64.5⇒▲55.9）、サービス業が5.8ポイント（▲75.0⇒▲69.2）と改善し、製造業が▲0.3ポイント（▲58.2⇒▲58.5）とほぼ横ばいとなったものの、不動産業が▲43.5ポイント（▲21.7⇒▲65.2）、卸売業が▲26.6ポイント（▲46.7⇒▲73.3）とそれぞれマイナス幅が拡大したことから、全産業ベースの業況D Iは、前回調査時の▲53.7から▲59.6へと悪化した。

製造業

業況は、売上の停滞、減少などから、ほぼ横ばいの高いマイナス水準となっている。

今後の見通しとしては、経済活動の再開による売上の増加などから、業況は改善を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・自動車メーカーの生産、販売計画で業況が左右される為、自助努力での改善には限界を感じる。（自動車部品製造）
- ・受注は増加傾向、東南アジアへの輸出が好調、ヨーロッパは低調。（プラスチック原料加工）
- ・営業活動が制限を受け、新規案件が獲得できず売上減少。（一般機械器具製造）
- ・コロナ禍での在宅時間が伸びたことにより、プラモデルの売上が大幅に増加。（プラスチックモデル製造）
- ・宅配会社からの受注が増加も、設備の老朽化もあり生産能力に不安。（冷凍鯉鮭加工）

卸売業

業況は、コロナ禍の影響もあり売上、収益の減少や在庫の増加から、大幅に悪化している。

今後の見通しとしては、売上の増加などから、業況は、引き続き高いマイナス水準ではあるが、改善を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・長期間に及ぶ相場の低迷に加え、コロナ禍で打撃を受けた。（製茶卸）
- ・消費は回復の兆しも、商材の入手が困難になり商機を喪失している。（化粧品卸）
- ・催事等自粛・中止により酒類の販売は大きく落ち込んでいる。（酒類卸）
- ・すべての商品で売上が減少した。（食料・飲料）

小売業

業況は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた前回調査から対策も進み、悪いながらも回復の兆しが表れ、やや改善している。

今後の見通しとしては、売上、収益が減少し、業況は悪化を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・コロナ禍により街への外出・外食が控えられ客足が鈍っている。出前を始めた。（飲食業）
- ・コロナ禍に加え、猛暑による仕入れ価格上昇により収益が圧迫されている。（青果小売）
- ・外出自粛の影響もありガソリンの販売量は対前年▲25%。（燃料小売業）
- ・県外での仕入れができず、売上も買い控えで減少している。（総合衣料販売）

サービス業

業況は、コロナ禍の影響を大きく受けた前回調査から対策も進み、悪いながらも回復の兆しはあるが、依然として高いマイナス水準となっている。

今後の見通しとしては、感染対策が進むことから、業況はやや改善するものの、引き続き高いマイナス水準を見込んでいる。

（事業者の声）

- ・コロナ禍の影響により、中心市街地店舗の客足が鈍るも、郊外店舗は然程影響がない。（美容業）
- ・コロナ禍の影響による大型イベント中止が多く、売上は落ち込む。（事務用機器レンタル）
- ・コロナ禍により宿泊業は極めて厳しい環境にあり、資金繰りも厳しい。（旅館業）
- ・取扱商品であるお茶関連の市場が鈍化しており、売上は減少している。（運送・倉庫）

建設業

業況は、新型コロナウイルス感染対策が進み、売上などが回復したことから、改善している。

今後の見通しとしては、受注残、施工高の改善などから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・鈍かった公共事業が動きはじめ、受注回復が見込まれる。(総合土木建設)
- ・公共事業主体で受注は安定、経験豊富な現場社員の高齢化により後継者育成が課題。(治山治水工事)
- ・コロナ禍の影響による工期の遅れが発生、昨年比で売上が減少。(一般住宅建築)
- ・寺社専門でありコロナ禍の影響は無いが寺社受注減少、小口リフォームが中心となる。(宮大工)

不動産業

業況は、新型コロナウイルス感染症の影響から県外への移動が制限されていたこともあり、売上が減少していることから、大幅な悪化となった。

今後の見通しとしては、経済活動の再開により、業況は改善するものの、引き続き高いマイナス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍の影響により、物件の空室化が進んでいる。大学生のリモート授業の増加・サラリーマンの引越をとともなう転勤の減少等が影響していると考える。(不動産売買・仲介)
- ・コロナ禍の影響によりテナントの動きが鈍く、今後も積極的が動きが見られない。(不動産仲介業)
- ・法人の賃貸駐車場契約が減少傾向にある。(不動産賃貸業)
- ・コロナ禍の影響の長期化を見込み新規先開拓から、既存顧客への対応を強化。(不動産仲介・管理)
- ・現在所有している商品土地は無い。また、コロナウイルスが原因で仲介案件が白紙となったものもある。保険商品も安価な商品との競合が激化しており、全社的に売上は低迷。(不動産仲介販売・保険代理店)

■西部地区

西部では、卸売業が▲5.0ポイント(▲75.0⇒▲80.0)と悪化したものの、小売業が18.1ポイント(▲68.1⇒▲50.0)、不動産業が13.2ポイント(▲47.2⇒▲34.0)、サービス業は9.9ポイント(▲69.0⇒▲59.1)、製造業が7.7ポイント(▲84.0⇒▲76.3)、建設業が6.0ポイント(▲32.0⇒▲26.0)と改善したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲71.0から▲63.6とやや改善したが、悪化水準は引き続き高い。

製造業

業況は、売上がやや増加したことから、改善しているものの、引き続き高いマイナス水準となった。

今後の見通しとしては、コロナ禍の長期化の懸念はあるが、売上などが改善するため、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・親会社の休業等により受注が減少したが、現状、受注は増加している。(二輪車)
- ・7月以降の受注状況は回復している。(自動車)
- ・メーカーですら見通しが立たないため、まずはコスト面の見直しを行っている。(照明器具部品加工)

卸売業

業況は、売上、収益の減少などから、悪化している。

今後の見通しとしては、売上の増加などから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・スーパー等の小売店への販売は増加したものの、利益率が悪い。(野菜)
- ・学校での部活動の中止等が影響し、売上が減少している。(スポーツ用品)
- ・地元農家の業況低迷が続く、農業資材部門は厳しい状況である。(農業資材・石油製品)

小売業

業況は、巣ごもり需要が増え、売上が増加したことから、改善している。

今後の見通しとしては、売上などの減少により、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・外出自粛により、巣ごもり需要が増加しており、売上は減少していない。(食品・飲料)
- ・猛暑による食材の高騰が収益を圧迫している。(スーパーマーケット)
- ・テレワーク・外出自粛の影響で需要は減少している。(ガソリンスタンド)
- ・人手不足により人材確保が当面の施策と考えている。(LP ガス機器)

サービス業

業況は、経済活動の再開により売上、収益などが増加したことから、改善しているものの、引き続き高いマイナス水準となった。

今後の見通しとしては、感染対策が進み、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・8月以降はGo To トラベルにより、売上が回復しつつある。(宿泊)
- ・大人数でのイベントが催せないこともあり、昨年に比べ売上は減少している。(レジャー)
- ・イベント中止が続いており、警備の仕事に今後不安を抱えている。(警備・葬祭)

建設業

業況は、売上の増加から、改善している。

今後の見通しとしては、受注残の減少などにより、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・4～6月は新型コロナウイルスの影響で受注が減少したが、現状は回復傾向にある。(総合建設)
- ・工事現場に入ることが制限されることがあり、工事が停滞している。(一般住宅建築)
- ・人手不足は続いており、人材確保が急務となっている。(土木建設)

不動産業

業況は、売上の増加などから、改善している。

今後の見通しとしては、売上の減少などにより、業況は悪化を見込んでいる

(事業者の声)

- ・今後、不動産の販売方法については、SNSを活用していく方針である。(不動産売買)
- ・商業テナントから一時的な家賃の引き下げ要請があった。(不動産賃貸)
- ・役員報酬の見直し等により経費削減を図っているが、抜本的な改善はできていない。(不動産仲介)

[お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話：054-255-5530

1. 業況(全業種)

	今回調査(2020年7～9月期)						前回調査(2020年4～6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	2.2%	8.1%	28.6%	35.6%	25.6%	▲ 50.9	1.1%	5.1%	20.5%	34.1%	39.2%	▲ 67.0
中部地区	1.6%	5.2%	26.9%	43.5%	22.8%	▲ 59.6	1.1%	8.4%	27.4%	35.8%	27.4%	▲ 53.7
西部地区	1.2%	4.9%	24.2%	42.7%	27.0%	▲ 63.6	0.9%	3.0%	21.1%	38.3%	36.6%	▲ 71.0
県内合計	1.6%	5.9%	26.0%	40.7%	25.9%	▲ 59.1	1.0%	4.5%	21.9%	36.6%	35.9%	▲ 67.0

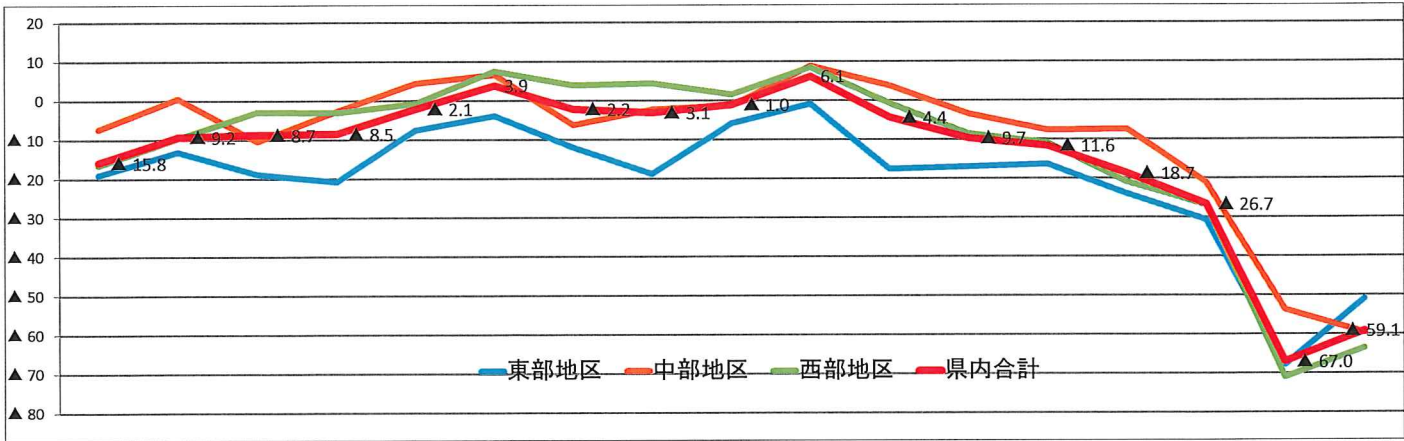
2. 業況予想(全業種)

	2020年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	1.6%	5.1%	32.9%	37.5%	22.9%	▲ 53.6
中部地区	2.6%	10.4%	30.1%	44.0%	13.0%	▲ 44.0
西部地区	0.9%	4.6%	27.7%	47.6%	19.1%	▲ 61.3
県内合計	1.4%	5.7%	29.7%	44.0%	19.3%	▲ 56.2

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2016年 7～9月期	2016年 10～12月期	2017年 1～3月期	2017年 4～6月期	2017年 7～9月期	2017年 10～12月期	2018年 1～3月期	2018年 4～6月期	2018年 7～9月期	2018年 10～12月期	2019年 1～3月期	2019年 4～6月期	2019年 7～9月期	2019年 10～12月期	2020年 1～3月期	2020年 4～6月期	2020年 7～9月期
東部地区	▲ 19.0	▲ 13.0	▲ 18.8	▲ 20.7	▲ 7.5	▲ 3.9	▲ 12.0	▲ 18.8	▲ 5.8	▲ 0.8	▲ 17.5	▲ 16.9	▲ 16.3	▲ 24.0	▲ 30.6	▲ 67.0	▲ 50.9
中部地区	▲ 7.3	0.6	▲ 10.4	▲ 2.7	4.4	6.7	▲ 6.3	▲ 2.3	▲ 1.3	8.9	3.8	▲ 3.4	▲ 7.6	▲ 7.4	▲ 21.1	▲ 53.7	▲ 59.6
西部地区	▲ 16.5	▲ 9.6	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 0.8	7.5	3.9	4.5	1.5	8.6	▲ 0.8	▲ 8.5	▲ 10.9	▲ 20.9	▲ 26.9	▲ 71.0	▲ 63.6
県内合計	▲ 15.8	▲ 9.2	▲ 8.7	▲ 8.5	▲ 2.1	3.9	▲ 2.2	▲ 3.1	▲ 1.0	6.1	▲ 4.4	▲ 9.7	▲ 11.6	▲ 18.7	▲ 26.7	▲ 67.0	▲ 59.1

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2
・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2020年7～9月期)						前回調査(2020年4～6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.8%	4.6%	16.7%	33.3%	42.6%	▲ 68.5	0.0%	6.5%	15.0%	35.5%	43.0%	▲ 72.0
卸売業	0.0%	8.6%	34.3%	37.1%	20.0%	▲ 48.6	2.8%	0.0%	19.4%	36.1%	41.7%	▲ 75.0
小売業	1.2%	6.0%	25.0%	44.0%	23.8%	▲ 60.7	3.6%	1.2%	16.7%	38.1%	40.5%	▲ 73.8
サービス業	0.0%	7.8%	23.5%	47.1%	21.6%	▲ 60.8	0.0%	2.0%	6.0%	22.0%	70.0%	▲ 90.0
建設業	3.4%	8.5%	52.5%	27.1%	8.5%	▲ 23.7	0.0%	8.5%	44.1%	28.8%	18.6%	▲ 39.0
不動産業	5.9%	23.5%	35.3%	17.6%	17.6%	▲ 5.9	0.0%	14.7%	29.4%	44.1%	11.8%	▲ 41.2
全業種	2.2%	8.1%	28.6%	35.6%	25.6%	▲ 50.9	1.1%	5.1%	20.5%	34.1%	39.2%	▲ 67.0

2. 中部地区

	今回調査(2020年7～9月期)						前回調査(2020年4～6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.7%	3.8%	22.6%	35.8%	32.1%	▲ 58.5	0.0%	12.7%	16.4%	34.5%	36.4%	▲ 58.2
卸売業	0.0%	0.0%	26.7%	46.7%	26.7%	▲ 73.3	0.0%	6.7%	40.0%	20.0%	33.3%	▲ 46.7
小売業	0.0%	11.8%	20.6%	52.9%	14.7%	▲ 55.9	0.0%	9.7%	16.1%	35.5%	38.7%	▲ 64.5
サービス業	0.0%	3.8%	23.1%	53.8%	19.2%	▲ 69.2	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	▲ 75.0
建設業	0.0%	11.1%	40.7%	33.3%	14.8%	▲ 37.0	7.4%	3.7%	29.6%	48.1%	11.1%	▲ 48.1
不動産業	0.0%	0.0%	34.8%	43.5%	21.7%	▲ 65.2	0.0%	13.0%	52.2%	30.4%	4.3%	▲ 21.7
全業種	1.6%	5.2%	26.9%	43.5%	22.8%	▲ 59.6	1.1%	8.4%	27.4%	35.8%	27.4%	▲ 53.7

3. 西部地区

	今回調査(2020年7～9月期)						前回調査(2020年4～6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.9%	2.4%	17.1%	43.5%	36.0%	▲ 76.3	0.3%	1.9%	11.6%	35.7%	50.5%	▲ 84.0
卸売業	1.3%	1.3%	15.0%	55.0%	27.5%	▲ 80.0	1.3%	3.9%	14.5%	44.7%	35.5%	▲ 75.0
小売業	0.0%	13.6%	22.7%	37.9%	25.8%	▲ 50.0	5.8%	1.4%	17.4%	42.0%	33.3%	▲ 68.1
サービス業	2.3%	4.5%	27.3%	50.0%	15.9%	▲ 59.1	0.0%	0.0%	31.0%	52.4%	16.7%	▲ 69.0
建設業	2.6%	7.8%	53.2%	28.6%	7.8%	▲ 26.0	0.0%	9.3%	49.3%	34.7%	6.7%	▲ 32.0
不動産業	1.9%	11.3%	39.6%	39.6%	7.5%	▲ 34.0	0.0%	3.8%	45.3%	34.0%	17.0%	▲ 47.2
全業種	1.2%	4.9%	24.2%	42.7%	27.0%	▲ 63.6	0.9%	3.0%	21.1%	38.3%	36.6%	▲ 71.0

4. 県内合計

	今回調査(2020年7～9月期)						前回調査(2020年4～6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI		やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.8%	3.0%	17.6%	40.5%	37.0%	▲ 72.7	0.2%	4.2%	12.9%	35.6%	47.2%	▲ 78.4
卸売業	0.7%	2.8%	22.1%	49.0%	25.5%	▲ 71.0	1.4%	3.5%	21.1%	37.3%	36.6%	▲ 69.0
小売業	0.5%	9.8%	23.4%	43.5%	22.8%	▲ 56.0	3.8%	2.7%	16.8%	39.1%	37.5%	▲ 70.1
サービス業	0.8%	5.8%	24.8%	49.6%	19.0%	▲ 62.0	0.0%	0.9%	19.0%	38.8%	41.4%	▲ 79.3
建設業	2.5%	8.6%	50.9%	28.8%	9.2%	▲ 27.0	1.2%	8.1%	44.1%	34.8%	11.8%	▲ 37.3
不動産業	2.7%	12.7%	37.3%	33.6%	13.6%	▲ 31.8	0.0%	9.1%	41.8%	36.4%	12.7%	▲ 40.0
全業種	1.6%	5.9%	26.0%	40.7%	25.9%	▲ 59.1	1.0%	4.5%	21.9%	36.6%	35.9%	▲ 67.0

資料 3
・業種別予想

1. 東部地区

	2020年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.9%	5.6%	25.0%	38.0%	30.6%	▲ 62.0
卸売業	0.0%	2.9%	40.0%	34.3%	22.9%	▲ 54.3
小売業	2.4%	1.2%	28.6%	50.0%	17.9%	▲ 64.3
サービス業	2.0%	0.0%	19.6%	45.1%	33.3%	▲ 76.5
建設業	1.7%	8.5%	55.9%	25.4%	8.5%	▲ 23.7
不動産業	2.9%	17.6%	41.2%	17.6%	20.6%	▲ 17.6
全業種	1.6%	5.1%	32.9%	37.5%	22.9%	▲ 53.6

2. 中部地区

	2020年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.7%	20.8%	22.6%	39.6%	11.3%	▲ 24.5
卸売業	3.3%	6.7%	30.0%	30.0%	30.0%	▲ 50.0
小売業	0.0%	11.8%	17.6%	64.7%	5.9%	▲ 58.8
サービス業	0.0%	3.8%	26.9%	53.8%	15.4%	▲ 65.4
建設業	3.7%	7.4%	51.9%	33.3%	3.7%	▲ 25.9
不動産業	0.0%	0.0%	43.5%	43.5%	13.0%	▲ 56.5
全業種	2.6%	10.4%	30.1%	44.0%	13.0%	▲ 44.0

3. 西部地区

	2020年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.6%	3.6%	21.0%	51.7%	23.1%	▲ 70.6
卸売業	1.3%	1.3%	22.5%	50.0%	25.0%	▲ 72.5
小売業	1.5%	7.6%	25.8%	45.5%	19.7%	▲ 56.1
サービス業	0.0%	6.8%	29.5%	50.0%	13.6%	▲ 56.8
建設業	2.6%	7.8%	46.8%	35.1%	7.8%	▲ 32.5
不動産業	0.0%	5.7%	50.9%	37.7%	5.7%	▲ 37.7
全業種	0.9%	4.6%	27.7%	47.6%	19.1%	▲ 61.3

4. 県内合計

	2020年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.2%	5.9%	22.1%	47.4%	23.5%	▲ 63.8
卸売業	1.4%	2.8%	28.3%	42.1%	25.5%	▲ 63.4
小売業	1.6%	5.4%	25.5%	51.1%	16.3%	▲ 60.3
サービス業	0.8%	3.3%	24.8%	48.8%	22.3%	▲ 66.9
建設業	2.5%	8.0%	50.9%	31.3%	7.4%	▲ 28.2
不動産業	0.9%	8.2%	46.4%	32.7%	11.8%	▲ 35.5
全業種	1.4%	5.7%	29.7%	44.0%	19.3%	▲ 56.2